

—消費者見守り情報 No.79—

～いつまでたってもなくなる特殊詐欺～

問 住民福祉課 住民係 ☎62-9112 茅野市消費生活センター ☎72-2101(内線 256)
長野県中信消費生活センター ☎0263-40-3660

平成29年上半年期の特殊詐欺について、長野県警察本部より発生傾向の情報が発表されました。

●認知（警察で被害を把握した）状況

- ・認知件数は115件で前年より20件、14.8%の減、被害額は約1億3434万円で前年より約1億7883万円、57.1%減となっており、1件当たりの被害額は約117万円です。
- ・認知件数は架空請求詐欺が43件（前年比11件増）、オレオレ詐欺が35件（前年比24件減）、還付金等詐欺が27件（前年比2件減）となっています。
- ・オレオレ詐欺、架空請求詐欺、還付金等詐欺の3つの手口の合計が、認知件数全体の91.3%（105件）を占めています。

●阻止状況

- ・阻止件数は179件（前年比43件、19.4%の減）、阻止金額は約2億1429万円（前年比約1億4732万円、40.7%減）となっており、1件あたりの阻止金額は約120万円です。
- ・阻止件数の内35.2%は架空請求詐欺で63件（前年比11件減）、34.6%が還付金等詐欺で62件（前年比4件増）、27.9%がオレオレ詐欺で50件（前年比34件の減）となっています。
- ・詐欺被害を未然に防止した者は、40.8%が金融機関職員（73件）、20.7%が家族（37件）、18.4%がコンビニ従業員（33件）となっています。

●被害者の男女別数

- ・被害者の内訳は31.3%が男性（36名）、68.7%が女性（79名）です。
- ・オレオレ詐欺の被害者では、8.6%が男性（3名）、91.4%が女性（32名）です。
- ・架空請求詐欺の被害者では、51.2%が男性（22名）、48.8%が女性（21名）です。
- ・還付金等詐欺の被害者では、25.9%が男性（7名）、74.1%が女性（20名）です。
- ・男性被害者でみると、架空請求詐欺が61.1%、還付金等詐欺が19.4%となっています。
- ・女性被害者でみると、オレオレ詐欺が40.5%、架空請求詐欺が26.6%となっています。

●被害者の年代別

- ・特殊詐欺被害者のうち、60歳以上の年代の方が約7割を占めています（特に70代が多い）。

●被害者の職業

- ・被害者の内の64.3%（74名）が無職の方です。

●詐取（振込・送金等）の方法

- ・被害現金等の受取り方は、振込型（ATMが29.3%、窓口が1.6%）と手交型（自宅が10.9%、上京型が2.3%）、送付型（電子マネーが46.5%、送付が5.5%）に分類され、被害金額的に多いのはATMを利用するもので、件数的に多いのは電子マネーを利用するものとなっています。

町では 特殊詐欺被害防止機器（自動通話録音装置）の設置経費に対する補助事業を行っています。
わずかな自己負担で大きな効果が期待できます。ぜひ設置のご検討をお願いします。

「広報ふじみ 縮刷版」を販売しています

申込 問 総務課 文書情報係 ☎62-9324

町では過去の広報誌をまとめた縮刷版を販売しています。

この「広報ふじみ」は町民のみなさんと行政のパイプ役を果たすべく町の様子や話題を取り上げ、歴史を記録してきたものです。購入をご希望の方は総務課文書情報係までお問い合わせ下さい。

●仕様 A4版製本・箱入り

刊行物	発行年月	掲載期間	販売価格(税込)
広報ふじみ縮刷版 第1巻	昭和59年9月	昭和43年7月(第1号)～ 昭和59年9月(第174号)	3,000円
広報ふじみ縮刷版 第2巻	平成14年3月	昭和59年10月(第175号)～ 平成6年12月(第297号)	5,000円 (セット販売と なります)
広報ふじみ縮刷版 第3巻	平成14年3月	平成7年1月(第298号)～ 平成12年12月(第369号)	

